Aterm シリーズ用　i･ナンバー(3 番号)の説明と使い方

2000 年 9 月

【対応機種＆ソフト名】

機　種　名	ソ　フ　ト　名	バージョン
AtermIT75 シリーズ AtermIT75/D AtermIT75	ファームウェア	Ver.1.60 以降
	らくらくユーティリティ(Windows 32bit 版)	Ver.1.50 以降
	らくらくユーティリティ(Windows 16bit 版)	Ver.1.40 以降
	らくらくユーティリティ(Mac 版)	
AtermIT60 シリーズ AtermIT60/D AtermIT60/D[S]	ファームウェア	Ver.1.60 以降
	らくらくユーティリティ(Windows 32bit 版)	Ver.1.50 以降
	らくらくユーティリティ(Windows 16bit 版)	Ver.1.40 以降
	らくらくユーティリティ(Mac 版)	
AtermIT60L シリーズ AtermIT60L/D AtermIT60L/D[S]	ファームウェア	Ver.1.60 以降
	らくらくユーティリティ(Windows 版)	Ver.1.30 以降
	らくらくユーティリティ(Mac 版)	Ver.1.20 以降
AtermIT40 シリーズ AtermIT40/D	ファームウェア	Ver.1.60 以降
	らくらくユーティリティ(Windows 32bit 版)	Ver.1.30 以降
	らくらくユーティリティ(Windows 16bit 版)	Ver.1.30 以降
	らくらくユーティリティ(Mac 版)	

もくじ

1.　お使いになる前に

必要な設定を確認する

ｉ・ナンバーを利用するにあたって、設定を行うために、本装置の「ユーティリティ」の一部であるらくらくウィザードが「利用できる／利用できない」で最初の設定方法が異なります。

■らくらくウィザードが利用できるパソコンでは

らくらくウィザードを実行すると、アナログ通信機器の利用に必要な設定のほとんどが完了します。
下記の条件に該当する場合は、らくらくウィザードで設定を行ってください。

●らくらくウィザードが利用できる条件

・データポートまたは USB ポートにパソコンを接続している
（AtermIT40/D には、USB ポートがありません）
・パソコンで Windows Me/2000/98/95/NT4.0 または Macintosh を利用している

■らくらくウィザードが利用できないとき、または詳細な設定を行いたい ときは

パソコン（らくらくユーティリティ）または電話機で設定します。

らくらくウィザードで設定する場合

らくらくウィザードを起動する

①　他のプログラムが、データポートを使用している場合は、それらを終了させる。

②　「スタート」をクリックし、［プログラム]→[Aterm【機種名】ユーティリティ]の順にポイント、[【機種名】らくらくウィザード]をクリックする。

らくらくウィザードが起動します。

らくらくウィザードで設定する

③　［【機種名】らくらくウィザードにようこそ］画面の内容をよくお読みになってから、「次へ」ボタンをクリックする。

④　［設定を始める前に］画面の内容をよくお読みになってから、「次へ」ボタンをクリックする。

⑤　［**Aterm**【機種名】の接続方法］画面で接続方法を設定し、「次へ」ボタンをクリックする。

・シリアルポート接続の場合：「RS-232C ケーブルで接続」のラジオボタンをクリックする。
・ USB ポート接続の場合　　：「USB ケーブルで接続」のラジオボタンをクリックする。

［**USB** ドライバのインストール］画面が表示されますので、案内に従ってインストール操作を行ってください。
インストールが完了したら、再起動後、手順⑥に進みます。すでに USB 用アダプタがインストールされているときは、「USB ドライバのアップデート」が表示されますので、案内に従って操作を行ってください。

⑥　［接続 **COM** ポート］画面で、接続されている COM ポートを確認後、「次へ」ボタンをクリックする。

⑦　［アナログポートの使い方］画面で、接続されている機器を設定し、「次へ」ボタンをクリックする。

機器を接続していないアナログポートは、「何も接続しない（使用しない)」を設定してください。

⑧　［ｉ・ナンバー／ダイヤルイン利用の有無］画面で、INS ネット 64 のｉ・ナンバー／ダイヤルインサービスを「利用している／利用していない」を設定する。

・「ｉ・ナンバーを利用している」を選択した場合は、「次へ」ボタンをクリックし、⑪へ進む。
・「ｉ・ナンバーを利用していない」を選択した場合は、ダイヤルインサービスを「利用している／利用していない」について選択し、「次へ」ボタンをクリックし、⑨へ進む。

⑨　［電話番号の設定］画面で電話番号を入力し、「次へ」ボタンをクリックする。

⑩　［電話番号のアナログポートへの登録］画面でアナログポートごとに電話番号の割り当てを行い、「次へ」ボタンをクリックする。

⑪　［設定内容の **Aterm**【機種名】への登録］画面の内容ををよくお読みの上、「実行」ボタンをクリックする。

⑫　登録が終了すると、［アナログポート設定終了］画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックする。

⑬　［プロバイダの選択］画面が表示されるので、インターネット接続に関する設定を行い、設定終了後は⑭へ進む。

インターネットに関する設定を行わない場合は、「設定を行わない」を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

⑭　［終了］画面で、「終了」をクリックする。これでらくらくウィザードが終了します。

2.　i･ナンバー（3 番号）について

i･ナンバー（有料）をご契約になると、複数の電話番号を持つことができます。相手の方がかけてきたときに通知される i･ナンバー情報ごとに、着信するポートを特定することができます。

必要な INS ネット 64 の契約

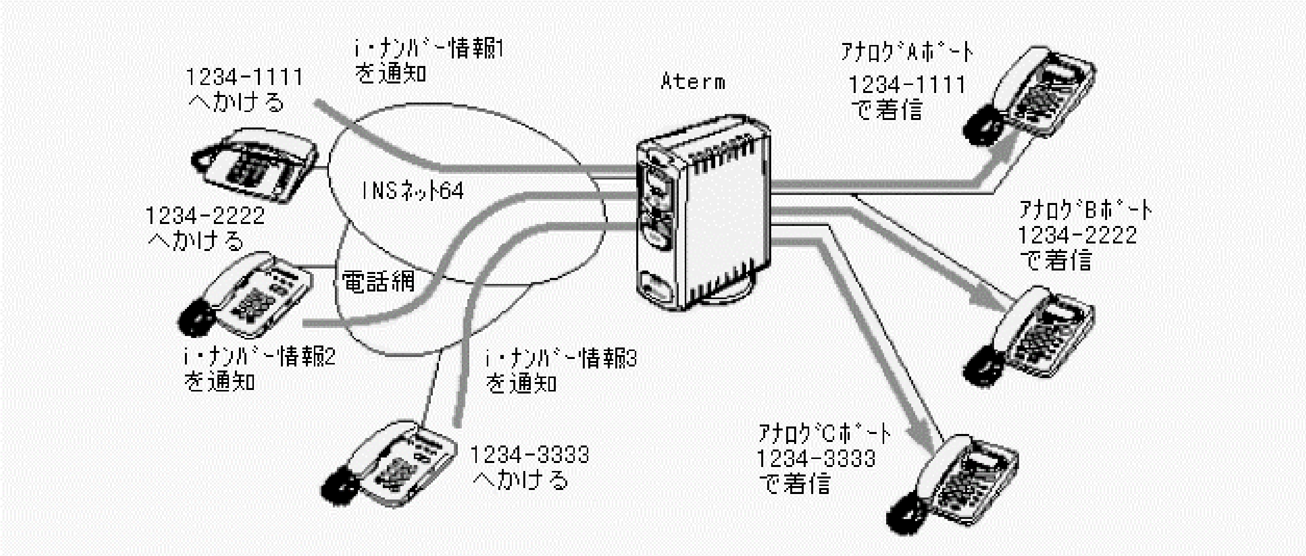
- **i･ナンバー（有料）**
  本サービスをご利用になるには NTT 東日本／NTT 西日本との契約が必要になります。
  1 つ目の電話番号（契約者回線番号）が i･ナンバー情報 1、2 つ目の電話番号（追加番号）が i･ナンバー情報 2、3 つ目の電話番号（追加番号）が i･ナンバー情報 3 となります。

本装置で必要な設定

i･ナンバーを利用する旨と、相手の方が電話をかけてきたときに通知される i･ナンバー情報ごとに、着信するポートを設定する必要があります。

■ 3 つの電話機で呼び分ける例

1234-1111（契約者回線番号）での着信はアナログ A ポートに、1234-2222（追加番号）での着信はアナログ B ポートに、1234-3333（追加番号）での着信はアナログ C ポートにする場合



回線契約と設定	i･ナンバー情報 1	i･ナンバー情報 2	i･ナンバー情報 3
回線の契約	i･ナンバーを契約する		
	1234-1111（契約者回線番号）が割り当てられる	1234-2222（追加番号）が割り当てられる	1234-3333（追加番号）が割り当てられる
i･ナンバーの設定	「i･ナンバー情報を使用する」を選択する		
電話番号の設定	1234-1111 を設定する	1234-2222 を設定する	1234-3333 を設定する
着信するポートの設定	「A ポート」を選択する	「B ポート」を選択する	「C ポート」を選択する

《お知らせ》

・「i･ナンバーを使用する」と設定した場合は、初期値として、契約者回線番号（i･ナンバー情報 1）に電話がかかってくるとアナログ A ポートに着信し、1 つ目の追加番号（i･ナンバー情報 2）に電話がかかってくるとアナログ B，C ポートに着信するようになっています。初期値のままだと、2 つ目の追加番号（i･ナンバー情報 3）に電話がかかってきても、アナログポートに着信しません。
・相手の方に通知する i･ナンバーは、アナログ A ポートから電話をかけた場合は i･ナンバー情報 1 になり、アナログ B，C ポートから電話をかけた場合は i･ナンバー情報 2 になります。
・初期値以外の着信／発信するポートの設定を希望される場合は、別途設定が必要になります。

3.　電話機から設定する

i･ナンバーを設定する

《着信番号の設定》

① 受話器を上げる。

②【＊】【＊】【1】【＊】を押す。

③【5】【＊】を押す。

④【9】【0】【1】～【9】【0】【3】を押す。

（【9】【0】【1】: i･ナンバー情報 1、
【9】【0】【2】: i･ナンバー情報 2、
【9】【0】【3】: i･ナンバー情報 3）

⑤【＊】【電話番号】【#】を押す。

内線指定番号を設定する場合は、【＊】【電話番号】【#】【＊】【内線指定番号】【#】を押してください。

⑥ ③から繰り返して i･ナンバー情報 1～3 のうち利用するものすべてを設定する。

着信番号の設定が終了したら⑦へ進んでください。

《着信ポートの設定》

⑦【1】または【2】または【3】を押す。

（【1】: アナログAポート、【2】: アナログ B ポート、【3】: アナログ C ポート）

⑧【＊】【9】【4】【＊】を押す。

⑨ 着信する i･ナンバー情報【1】～【3】を押し、【#】を押す。

⑩ 他のアナログポートを設定するときは⑦から繰り返す。

着信ポートの設定が終了したら⑪へ進んでください。

《発信ポートの設定》

⑪【1】または【2】または【3】を押す。

（【1】: アナログAポート、【2】: アナログ B ポート、【3】: アナログ C ポート）

⑫【＊】【9】【5】【＊】を押す。

⑬ 通知する i･ナンバー情報【1】～【3】を押し、【#】を押す。

⑭ 他のアナログポートを設定するときは⑪から繰り返す。

発信ポートの設定が終了したら⑮へ進んでください。

《 i･ナンバーの使用設定》

⑮【4】【＊】【7】【6】【＊】を押す。

⑯【1】【#】【#】を押し、受話器を戻す。

「i･ナンバーを使用する」のときに着信転送を設定する

《転送元の登録》

① 受話器を上げる。

②【＊】【＊】【1】【＊】【4】【＊】【4】【0】
←※（～【4】【2】）【＊】を押す。

※ 【4】【0】～【4】【2】を押すと、i･ナンバー情報ごとに1件（合計３件）までの電話番号を登録できます。

③ 転送元の i･ナンバー情報番号を登録する。

i･ナンバー情報 1 への着信を転送するときは【1】、
i･ナンバー情報 2 への着信を転送するときは【2】、
i･ナンバー情報 3 への着信を転送するときは【3】
を押してください。

④【#】を押す。

《転送先の登録》

⑤【4】【＊】【3】【0】(～【3】【2】)【＊】を押す。
↑
②の※で押したのと同じボタンを押す

⑥ 転送先の電話番号を登録する。

⑦【#】を押す。

《着信転送の種類選択》

⑧・ NTT 着信転送を設定するとき
【4】【＊】【2】【7】【＊】【1】【#】【＊】【トーキサービス←※※】【#】【#】を押す。

・ 疑似着信転送を設定するとき
【4】【＊】【2】【7】【＊】【2】【#】【#】を押す。

※※ トーキサービスは、下記の中から選択してください。

【0】: なし
【1】: 転送トーキのみ有り
【2】: 転送元トーキのみ有り
【3】: 両トーキともに有り

⑨ 受話器を戻す。

《お知らせ》

・発信ポートの設定を正しく行わないと、相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INS ネット 64 の各種サービスが利用できない場合もありますので、発信ポートを正しく設定してください。

・ AtermIT60 シリーズ／AtermIT60L シリーズ／AtermIT40/D には、アナログ C ポートがありません。アナログ A，B ポートでお使いください。

4.　らくらくユーティリティで設定する

4.1　Windows Me/2000/98/95/NT4.0 の場合

らくらくユーティリティを起動する

1.　本装置の電源を入れる。
2.［スタート］をクリックし、［プログラム］→［Aterm【機種名】ユーティリティ］の順にポイント、［【機種名】らくらくユーティリティ］をクリックする。
　　らくらくユーティリティが起動します。

らくらくユーティリティを終了する

1.　設定が終了したら［OK］ボタンをクリックする。
　　らくらくユーティリティが終了します。

i･ナンバーを設定する

1.［設定画面／機能］の［番号テーブル］ボタンをクリックする。
　　［電話番号テーブル］が表示されます。
2.［i･ナンバーを使用する］をクリックする。
　　i･ナンバーの設定画面になります。
3. 項目を設定する。（画面は一例です）



　［電話番号］
　i･ナンバー情報 1、　i･ナンバー情報 2、　i･ナンバー情報 3 の電話番号を入力します。
　※　－（ハイフン）は入力しなくてもかまいません。
　［内線指定番号］
　i･ナンバー情報ごとに 0～9 の数字を使って 4 桁の任意の番号を入力します。
　※　アナログ・ダイヤルインを使用するときに設定します。
　［着信するポート］
　i･ナンバー情報 1、　i･ナンバー情報 2、　i･ナンバー情報 3 で呼び出すポートを選択します。
　［発信するポート］
　各アナログポート（A、B、C）とデータポートから発信したときに通知する電話番号を 1 つずつ選択します。
　［1 ON］をクリックすると全ポートで i･ナンバー情報 1 の電話番号を通知します。
　［2 ON］をクリックすると全ポートで i･ナンバー情報 2 の電話番号を通知します。
　［3 ON］をクリックすると全ポートで i･ナンバー情報 3 の電話番号を通知します。
4.［OK］ボタンをクリックする。
　　らくらくユーティリティの起動画面に戻ります。

《お知らせ》
・電話番号の設定を正しく行わないと、相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INS ネット 64 の各種サービスが利用できない場合もありますので、電話番号は正しく設定してください。
・ AtermIT60 シリーズ／AtermIT60L シリーズ／AtermIT40/D には、アナログ C ポートがありません。アナログ A，B ポートでお使いください。

着信転送を設定する

1. ［設定画面／機能］の［アナログポート］ボタンをクリックする。

   ［アナログポートの設定］が表示されます。

2. ［共通設定（着信）］タブをクリックする。

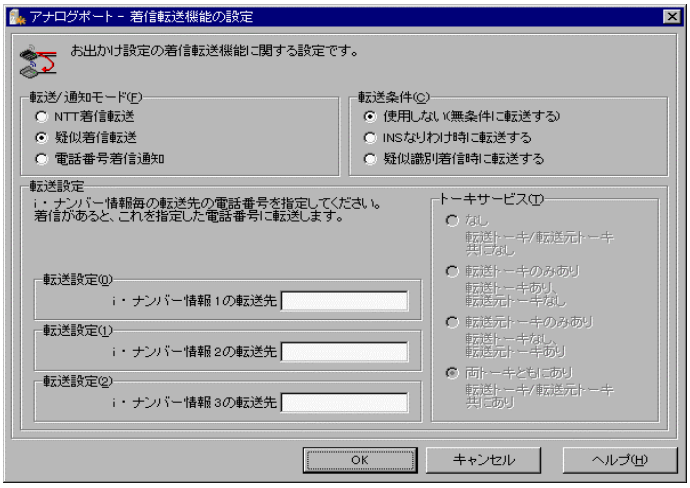
   ［共通設定（着信）］が表示されます。

3. ［お出かけ設定］の［電話着信転送モード］を選択する。

4. ［着信転送設定］ボタンをクリックする。

   ［着信転送機能の設定］が表示されます。

5. 項目を設定する。（画面は一例です）



   ［転送／通知モード］

   利用する転送方法を選択します。

   ［転送条件］

   転送条件を設定します。

   「INS なりわけ時に転送する」に設定した場合は、あらかじめ INS なりわけ電話番号を登録しておきます。

   「疑似識別転送時に転送する」に設定した場合は、あらかじめ疑似識別着信用の電話帳に疑似識別する電話番号を登録しておきます。

   無条件に転送する場合は、「使用しない」を選択します。

   ［転送設定］

   ・i･ナンバーを利用した場合

   転送先欄に各 i･ナンバー情報の転送先の電話番号を入力します。

   ※ －（ハイフン）は入力しなくてもかまいません。

   ※ ［転送／通知モード］で「電話番号着信通知」を選択した場合は、ここで BIGLOBE の ID も入力してください。

   ［トーキサービス］

   転送トーキと転送先トーキを流すかどうかを選択します。

   疑似着信転送をご利用のときは、トーキサービスを利用することはできません。

6. ［OK］ボタンをクリックする。

   らくらくユーティリティの起動画面に戻ります。

4.2　Macintosh の場合

らくらくユーティリティを起動する

1. 本装置の電源を入れる。
2. ［【機種名】ユーティリティ］フォルダをダブルクリックする。
3. ［【機種名】らくらくユーテイリティ］アイコンをダブルクリックする。

　　［【機種名】らくらくユーティリティ　簡易設定］が表示されます。

らくらくユーティリティを終了する

1.　設定が終了したらクローズボックスをクリックする。

　　らくらくユーティリティが終了します。

i･ナンバーを設定する

1. ［【機種名】らくらくユーテイリティ　簡易設定］で［共通アドレス登録］をクリックする。

　　［共通アドレス登録］が表示されます。

2. ［i･ナンバー］の［使用する］をクリックする。
3. ［次へ］をクリックする。

　　［共通アドレス登録（i･ナンバー使用)］が表示されます。

4. 項目を設定する。(画面は一例です)

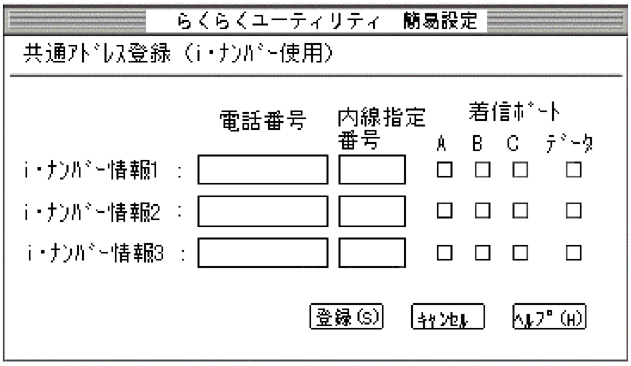
　　［電話番号］

　　i･ナンバー情報 1、　i･ナンバー情報 2、　i･ナンバー情報 3 の電話番号を入力します。

　　※ －（ハイフン）は入力しなくてもかまいません。

　　［着信ポート］

　　i･ナンバー情報 1、　i･ナンバー情報 2、　i･ナンバー情報 3 で呼び出すポートを選択します。



5. ［登録］ボタンをクリックする。

　　［【機種名】らくらくユーティリティ　簡易設定］に戻ります。

> 《お知らせ》
> ・電話番号の設定を正しく行わないと、相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INS ネット 64 の各種サービスが利用できない場合もありますので、電話番号は正しく設定してください。
> ・ AtermIT60 シリーズ／AtermIT60L シリーズ／AtermIT40/D には、アナログ C ポートがありません。アナログ A，B ポートでお使いください。

発信するポートを設定する

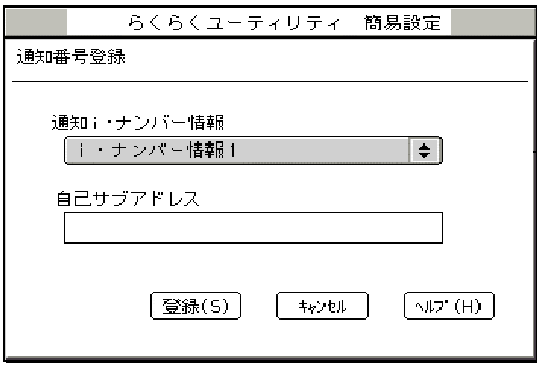
1. ［【機種名】らくらくユーティリティ　簡易設定］で設定するポート（［アナログ A ポート登録］、［アナログ B ポート登録］、［アナログ C ポート登録］、［データポート登録］）をクリックする。

　　各ポートの登録画面が表示されます。

2. ［番号設定］ボタンをクリックする。

　　［通知番号登録］が表示されます。(画面は一例です)

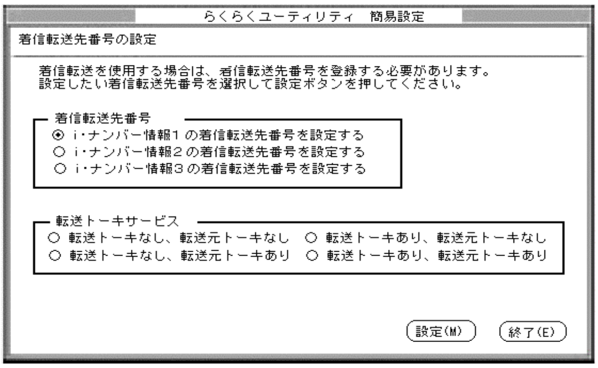
3.　相手に通知する電話番号を i･ナンバー情報 1、i･ナンバー情報 2、i･ナンバー情報 3 から選択します。
　　自己サブアドレスを使用する場合は入力します。
　　（通常は入力しません）



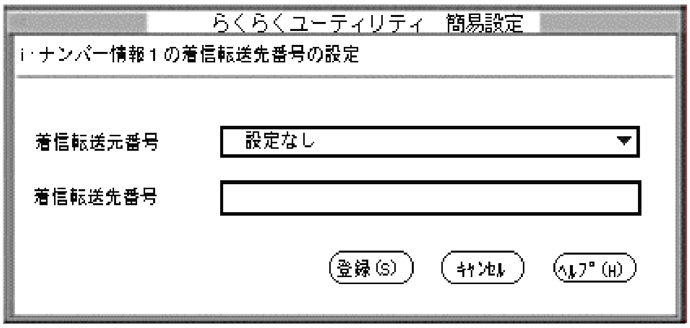
4. ［登録］ボタンをクリックします。

着信転送を設定する

1. ［【機種名】らくらくユーティリティ　簡易設定］で［アナログポート共通登録］をクリックする。
   ［アナログポートの共通登録］が表示されます。
2. 利用する転送方法を選択する。
3. ［着信転送設定］ボタンをクリックする。
   ［着信転送先番号の設定］が表示されます。
4. 着信転送先番号を設定する。（画面は一例です）
   ・i･ナンバーを利用する場合
   ［着信転送先番号］
   設定する i･ナンバー情報を選択する。
   ［転送トーキサービス］
   転送トーキと転送先トーキを流すかどうかを選択します。疑似着信転送をご利用のときは、トーキサービスを利用することはできません。



5. ［設定］ボタンをクリックする。
   ［着信転送先番号］で選択した i･ナンバー情報の着信転送先番号を設定するダイヤログボックスが表示されます。
6. 着信転送先番号を設定する。（画面は一例です）
   ・i･ナンバーを利用する場合
   転送する着信転送元番号をプルダウンで選択し、［着信転送先番号］に転送先の電話番号を入力する。
   「電話番号着信通知」のときは、ここで BIGLOBE の ID も入力してください。



7. ［登録］ボタンをクリックする。
   ［着信転送先番号の設定］に戻ります。
8. ［終了］ボタンをクリックする。
   ［アナログポートの共通登録］に戻ります。

5.　次の機能を使うときには

5.1　INS ボイスワープ

INS ネット 64 のｉ・ナンバーを使用し、かつ INS ボイスワープも使用する場合には、必ずｉ・ナンバー情報に契約した電話番号を設定してください。電話番号が設定されていないと、INS ボイスワープが正常に動作しません。

5.2　モデム・ダイヤルイン

INS ネット 64 のｉ・ナンバーを使用し、かつモデム・ダイヤルインも使用する場合には、必ずｉ・ナンバー情報に契約した電話番号を設定してください。電話番号が設定されていないと、モデム・ダイヤルインが正常に動作しません。

5.3　着信転送

INS ネット 64 のｉ・ナンバーを使用し、かつ着信転送も使用する場合には、必ずｉ・ナンバー情報に契約した電話番号を設定してください。電話番号が設定されていないと、着信転送が正常に動作しません。
また、ｉ・ナンバー情報毎に着信転送先を設定してください。

6.　AT コマンドで設定する

i・ナンバーを設定するために必要な AT コマンドの詳細

＊PC	i･ナンバー発信用 i･ナンバー情報設定	
機能	i･ナンバー発信用の i･ナンバー情報を設定します。	
書式	AT＊PC＜パラメータ 1＞＜=パラメータ 2＞	
パラメータ	＜パラメータ 1＞	A、B、C（アナログポート）、N（データポート）
	＜パラメータ 2＞	1～3（i･ナンバー情報）
入力例	AT＊PCA=1	
補足	初期値は A=1、B=2、C=2、N=1	

＊PN	i･ナンバー情報の電話番号	
機能	i･ナンバー情報の電話番号を設定します。	
書式	AT＊PN＜パラメータ 1＞＜=パラメータ 2＞	
パラメータ	＜パラメータ 1＞	1～3（i･ナンバー情報）
	＜パラメータ 2＞	電話番号（0～9 の数字、10 桁まで）
入力例	AT＊PN1=0312345678	

＊PR	i･ナンバー着信用 i･ナンバー情報設定	
機能	i･ナンバー着信用の i･ナンバー情報を設定します。	
書式	AT＊PR＜パラメータ 1＞＜=パラメータ 2＞＜,パラメータ 3＞＜,パラメータ 4＞	
パラメータ	＜パラメータ 1＞	A、B、C（アナログポート）、N（データポート）
	＜パラメータ 2＞～＜パラメータ 4＞	1～3（i･ナンバー情報）
入力例	AT＊PRA=1,2	
補足	初期値は A=1、B=2、C=2、N=1,2	

＊PX1	i･ナンバーの使用設定	
機能	i･ナンバーを使用するかどうかを設定します。	
書式	AT＊PX1=＜パラメータ 1＞	
パラメータ	＜パラメータ 1＞	0：使用しない（初期値）
		1：使用する
入力例	AT＊PX1=1	

＊P?	i･ナンバーの設定表示
機能	i･ナンバーに関する設定を表示します。
書式	AT＊P?
入力例	AT＊P?

《お知らせ》
AtermIT60 シリーズ／AtermIT60L シリーズ／AtermIT40/D には、アナログ C ポートがありません。
アナログ A，B ポートでお使いください。

7.　高機能 S 点ユニットでホームネットワークを使用する場合について

グループ番号を設定する

本装置に高機能 S 点ユニットを取り付けて、別のターミナルアダプタ（以下、TA と称す）を増設し、ホームネットワークを使用する場合のグループ番号（0～9）の設定について説明します。

◆ i･ナンバーを利用する場合

グループ番号 7 を i･ナンバー情報 1、グループ番号 8 を i･ナンバー情報 2、グループ番号 9 を i･ナンバー情報 3 でお使いください。
子 TA がグループ番号 7 で発信すると親 TA は i･ナンバー情報 1 で子 TA へ着信をかけます。
子 TA がグループ番号 8 で発信すると親 TA は i･ナンバー情報 2 で子 TA へ着信をかけます。
子 TA がグループ番号 9 で発信すると親 TA は i･ナンバー情報 3 で子 TA へ着信をかけます。
なお、グループ番号 0～6 で発信すると、着側 TA では全ポートに着信をかけます。

◆ i･ナンバーを利用しない場合

グループ番号 0～7 を契約者回線番号とダイヤルイン番号でお使いください。

《ご参考》
- AtermIT40/D では、高機能 S 点は、使用できません。
- 高機能 S 点ユニットの取り付け方や使用方法については、高機能 S 点ユニットに添付の『取扱説明書』や CD-ROM の中の『Read Me』をご覧ください。